

CLOSE-UP WHEEL

O-Z Racing

RALLY RACING



ディスク面はグラベル走行時に砂利がホイール内側に入ることを防ぐことを目的とした造形。GR ヤリスでは純正タイヤと入れ替えて装着できるサイズを設定している。写真のサイズは18×8J 45で、価格は6万1000円（税別）。カラーは写真のホワイトと、ダークグラファイトを設定する

最新車両にもマッチする 大径化と意匠アップデート

OZのラリーレーシングは、90年代にWRCで活躍したホイールをストリート仕様仕立てたモデルとして登場。グラベルで砂利などがブレーキキャリパー内に入らないようにカバーされた機能性をデザインで表現。その独自性により大ヒットモデルとなった。

ただし、当時は16インチ前後が主流であり、デザインも小径ホイールだから成立していた面もあった。それに対して、現在発売されている第2世代のラリーレーシングは、当時よりスポークを延長し、端をディスク面に載せるような立体的な要素を追加。また、

スポーク自体にアンダーカットデザインを入れることで、より立体的に魅せる。このニュアンスを追加することで、面が広いディスク形状に伸びやかなアクセントを加えている。大径ホイール装着が前提となった最新車両においても、足もとを飾るに相応しい存在感を示しているのだ。

鋳造製法でもOZは独自性がある。ディスク面を上を向いた鋳型を用意。センターから素材を吹き出しながら流し込み、さらに圧力を加えることでアルミ組織の「密」を高める「ロープレッシャー」という鋳造法を用いている。第2世代のラリーレーシングは、デザインの「強さ」だけでなく「軽さ」まで獲得している。

定番ながら進化し続ける ラリーレーシングの魅力

GR YARIS
RALLY RACING 18×8J 45
PILOT SPORT 4 225/40R18



ターマックラリーがイメージ スーパーツーリズムも近日発売

GRヤリス用として2021年に登場するのがWRCターマック用ホイールレプリカ「スーパーツーリズム」だ。こちらも純正タイヤと組み替えられるサイズも用意される。サイズは18×8J 40で、装着される大型ブレーキキャリパーにも対応した設計。カラーはレースホワイト。価格は5万9000円（税別）となっている。

